



自動化の概念を理解しBBSの手法をもって 新商品を自ら作り上げていく! ～常に新しいものを目指す力～

国内だけでなく、今や世界中の工場には、必ずと言っていいほどこのブランドの製品が使われているのではないのでしょうか。NKE(株)の中村 道一 社長にお話を伺いました。

自動化とBBS(ブロックビルディングシステム)コンセプト

当社は、工場の自動化、省力化に使う機械を作っているメーカーです。NKEブランドとして部品販売や部品を組み合わせたセット販売、また、エンドユーザである工場に直接機械を納品したり、工場で設備を作っているセットメーカーに納品したりといういろいろなパターンで営業しています。

当社は1969年、中村機器設計事務所として、ドラフターで図面を書いていた時代に先代が始めた自動機屋です。資金力が無い、組み立てる場所もないといった状況で、いかにリスクを最小限に抑えるかを苦慮しました。そこで、いろいろとところで作ったモノをブロックとしてストックし、これらを組み合わせ、さらに標準品として完成したユニットにすることで、設計時間を短縮し、作り直しのリスクを防ぐことができました。また、自動機を設計していると、設計者のニーズとして、あればいいと思うモノがわかります。作る人と使う人とが一緒なので便利なモノをどんどん作ることができました。ユーザーはばらばらでもそこから共通したシステムが見つかります。これらをユニット化し、ブロックとして組み合わせることでBBSという概念が生まれたのです。

どんなに複雑に見えるシステムも突き詰めていけば必ず安定した予測可能なパターンが存在するという開発上の信念があります。そのパターンを見つけ出し、それを抜き出してブロックビルディングでシステムを作り上げていく。オートメーションの考え方とBBSの手法で、様々な提案をさせてもらっています。

カタログ販売を始めてから36年になり、現在では何千社という会社で当社の製品をご購入いただいております。営業先でも我が社の製品は必ずと言っていいほど工場のどこかに入っていますので、そこからいろいろと製品について話ができるのが大変ありがたいことだと思っています。NKEロゴの入った製品が、工場内で無言のセールスマンとなってくれているのです。「これどこの作っているのだろう。こういうことができるのならこんな



こともできないか。」大企業ではなかなか小回りがきかない商品も、当社では一から作ることができます。コンベアひとつについても、足やガイド、センサをつけたいとか、幅や長さを変更したい等の様々なお客様のニーズに合わせてカスタマイズすることができます。カタログは入り口で実際は問い合わせが多いのです。

提案営業

平行エアチャックや組み込み型のコンベア、多重伝送を用いた省配線などを標準化していくというアイデア等、当社が最初に考えた商品はいろいろあります。しかし、ひとたび売れる商品になってしまうと数の論理で大手企業が安価で大量に供給してしまいます。型番商売だけでは実際生き残っていけない時代で、我々はそれらをどこにどのように組み入れてどう使うかといった付加価値を提案できないと勝負になりません。企業の生産性をどう高めていくかを考えて提案する必要があります。提案営業と言いますか、なぜこれが必要なのかというところから提案させてもらわないと僕らを使ってもらう価値が無いのです。

少品種大量生産の時代は終わり、多品種少量生産の時代になると、全てを自動化してしまうと段取り換えの手間やコスト面で採算が合わなくなってしまいます。複雑な工程や検査等、どこまでを自動化しどこまでを人の手で賄うか。そのあたりを相談し、提案していきます。標準化されたユニットを使っても、できあがった機械はそのお客さまオリジナルのものとなるのです。商品の付加価値を上げる行程はお客さまが十分ご存じですが、付加価値行程と付加価値行程の間にある非付加価値行程についてはどうしても次の次になってしまいます。その部分を私たちが一番いい方法を提案することで、その会社全体の生産性があがるのです。

たとえば、加工機から出てくるギアをコンテナに詰めるという作業を自動化しました。コンテナに仕切りを入れると楽に自動化できるのですが、多品種の時代、



サイズが変わる等汎用性に欠くので仕切りを入れたくないのです。仕切りのないコンテナにでこぼこのギアを入れる行程を自動化することはなかなか大変で、大抵この作業は単純作業ですが人がやっています。しかし、この部分を自動化することで、この人が機械のメンテナンスやオペレーションを担当することができトータルコストダウンにつながります。

いろんな現場に行って提案することで自分たちが教えてもらうことも大変多いです。もともと、ものづくりの好きな人間、シーズ志向の高い人間が集まっているので様々な現場を見て、色々と教えてもらって、そして次の商品が生まれるのです。

中国へ

中国ではもともと日系企業が現地でちょっとした自動化をやっていたのですが、最近ではラインから全てを現地で組まれるようになってきました。一昨年、100%出資の子会社を中国に立ち上げ、現在は現地に2名駐在しています。現時点ではまだ貿易の許可が降りず、ビジネスとしてはスタートしていない状況です。手続きが煩雑でルールがごろごろ変わるので大変です。当初は工場を建てようと思っていたのですが、政情が悪くなったこともあり、営業拠点とサービス拠点だけを置き、ものづくりは現地のサプライヤーさんの協力を得て、当社は設計と技術的なサポートをすることになりました。我が社の商品をメインに使いたいので、早く貿易許可を得て直接売買できるようにしたいものです。

実際、機械はあちらでたくさん動いているのでそのメンテナンスと部品販売だけでもそれなりの需要はあるのですが、市場調査の段階でも複数のお客様から、こちらに来てもらったらいろいろとやってもらいたいことがある、というお話をいただいております。楽しみにしているところです。

また、韓国やマレーシア等他国でも、代理店で機械を調達された後、補修部品を現地で供給できる最低限のネットワークを構築しています。

自ら作り提案しマネジメントする人材を

当社には中小企業のおもしろさを感じてくれる、モノづくりの大好きな人材が集まってきますが、中小企業なので、一つのことだけをしていれば良いということはありません。作っては売り交渉した作るといふ様々なことをしなければならないのです。そのため、階層別に自主的な勉強会を開き、特に最近はマネジメントに力を入れています。優れたユニークな技術も、技術が優れていればいるほど、それを経済的成果に結びつけることが重要です。それがマネジメントだと思い取り組んでいるところです。

これからはオートメーションの価値をいろいろなところに展開し、小さなビジネスを進めていきたいと思っています。そのビジネスをマネジメントする手法とその評価のため、社内を12のグループ(商品群を基本にしたグループ、営業地域を基本にしたグループ、主要6グループ、その他)に分けて擬似的に独立採算制の会社を作り、実際に企画書を書いたり、いろんな助成金等を活用したりと

それぞれ奮闘させています。12人の社長を集めた会議では喉が枯れるくらい活発な議論が飛び交います。今までいろいろ文句を言っていた社員も「儲かっているの」の一言で引いてしまったり、責任が明確化されるのでとても良い取組だと思っています。

また、7,8年前から経営が厳しいときでも必ず定期採用しており、リーマンショックのおりも2名採用しました。定期採用をしていくと1年経てば先輩となるので、しっかりしてきます。大変良いことだと感じています。

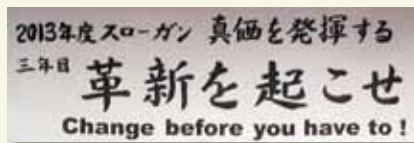
新たな需要の創出

工場の自動化ばかりしていると、いずれは拠点を中国にということになってしまいます。国内は国内で新たな需要を創出できる新製品、新サービスを見いだしていかなければいけません。国内のビジネスもきっちり行う企業としてやっていきたいのです。

新たな展開としては、従来のFAという工場現場だけにこだわらず、FA以外の分野にも自動化の価値を提供していきたいと考えています。機械にできることは機械に任せて、人間がより高度な仕事ができるようにすることが自動化です。工場以外にも自動化を生かしてもらえる場所は必ずあるはず。単純作業や重労働、危険な作業に従事している現場に自動化を適用すれば新たな需要を創出していけるのではないかと考えています。大企業ではないので、国内で維持発展していけるくらいの知恵を出して頑張っていかなければいけません。我が社は小さくてもメーカーであるという自負もあり、あまり大風呂敷を広げるのはなんですが、内需を活発に内需で食っていけるようなものを目指していきたいと思っています。

必要性に迫られて変わるのではなく、「自分たちから変わりたい!」という願いをこめて毎年スローガンを掲げています。今年のスローガンは「真価を発揮する～革新を起こせ～」です。常に革新を目指してやっているつもりですが、もっと社会的有用性が高い立派な会社に、もっと差別化を、もっとやれることがあるのではと常に考えています。

前社長は技術者で技術が大好き、アイデアをどんどん出して企業の“求心力”として今も皆の心の支えとなっています。二代目の私は父ほどの技術やアイデアはありませんので、組織の力でやっていかなければいけない。父とは逆に優秀な社員の力を生かす“遠心力”となってやっていきたいと思っています。



Company Data

NKE株式会社

代表取締役／中村 道一 氏
所在地／〒617-0828 京都府長岡京市馬場図所27
電話／075-955-0071
設立／1969年8月
資本金／2億9,700万円
従業員／125名
事業内容／全体最適モノづくりの提案、および支援機器の開発・製造・販売



お問い合わせ先

京都府中小企業技術センター 企画連携課 企画・情報担当 TEL: 075-315-8635 FAX: 075-315-9497 E-mail: kikaku@mtc.pref.kyoto.lg.jp

中小企業のための「自立するデザイン」の試み

登録専門家としての活動から生まれたデザイン支援の新たなアプローチ

企画連携課 主任研究員 古郷 彰治

商品開発や情報発信の場面でデザイナーの力を借りたいと思っても、現実問題としてその費用を継続的に支出することは中小企業にとってなかなか難しい。

だったら、ずっとデザイナーに頼るのでなく、自分たちでデザインできるようになればいい。最初はデザイナーの指導の元に、一緒になってデザインを経験する中で「デザインのツボ」を体感し、自分でもワクワクしながら楽しくデザインできるようになる。いわば「自分で歩き出すデザイン」「自立するデザイン」。

そんな視点でデザイン支援をされている、リンク・コミュニティデザイン研究所の由井真波さんの試みをご紹介します。中小企業にとっての現実的なデザイン活動のあり方の一つとして考えていただければ幸いです。

■ つい独りよがりの情報発信になりがち

御社のカタログや会社案内は、自社の技術や製品、サービスの魅力を相手（お客様）に的確に伝えるものになっていますか？

せっかく独自の特長がありながら、自分たちの云いたいことを一方的に書き並べてあって結局何がポイントなのか分かり難いものや、他社の「カッコイイ」印刷物を表面的にマネてしまったために、見た目と実体のイメージが合っていないものなどがまだまだ多く見られます。

しかし、そこに「デザイン」という行為が加わることで、自社の有形＆無形の資産や魅力をお客様の目線で捉え直し、お客様が知りたいことや「いいね」と思ってくださいそうなことを、最適な言葉や文章、最適な写真や図、そして最適なレイアウトや色づかいで表現することができれば、お客様の反応が明らかに違ってきます。

■ 中小企業のデザイン活動はなかなか続かない

ではうちの会社でもデザインを導入しよう、デザイナーに相談してみようと考えたときに、具体的にどうすればいいか。いいデザインをするには、いいデザイナーとの出会いが必要です。でも、いいデザイナー（＝自社の課題に適したデザイナー）を見つけるのはそう簡単ではないし、デザイン費用についての不安もあります。

そこでまず活用をおすすめしたいのが、公的支援機関が行う専門家派遣事業です。支援機関が一部または全部の費用を負担して各分野の専門家を派遣するもので、専門家が御社を訪れ、話を聞き現場を確認して課題を把握し、アドバイスや提案を行うという内容です。

リンクの由井さんは、京都産業21(075-315-8660)の「専門家派遣制度」や京都府商工会連合会(075-314-7151)の「エキスパートバンク」などの事業で、デザイン分野の登録専門家として中小企業などに対し商品開発や広報宣伝、マーケティング、ブ

ランディングなどの相談に応じて来られました。ところが、この派遣事業が一旦終わると、当該企業内でのデザインの取り組みも終わってしまう例が少なくありませんでした。せっかく企業がデザイン活動の第一歩を踏み出されたというのに。

■ それなら自分たちでデザインできるように

そういう残念な経験を重ねられる中で由井さんは「企業の中でデザインの取り組みが続いていくような方法はないだろうか」と考えられました。自分がひとつのデザインワークを作り上げ、それを渡して終わるよりも、一連の支援の中で具体的なデザインの進め方（と楽しさと醍醐味）を共有し、自分たちでデザインに取り組むノウハウと意欲を身につけていただく。そうすれば「専門家派遣」の事業が終了しても、企業内でのデザイン活動は続いていくのでは、と。

いつまでも付き添うのではなく、送り出す。「さあ、デザインのツボは分かったでしょう。その経験を生かして、あとは自分たちなりのデザインを進めてみて」と。

イメージとしては、フルマラソンに挑戦する初心者とそれをサポートする専門家との関係に例えると分かり易いかもしれません。あくまで走るのは企業であって、専門家が代わりに走ってしまっては意味がない。最初は走り方や心構え、日々のトレーニングの方法などを指導する。もちろんその人の経験や体力に合った形で。そして、スタート地点ですぐ「行ってらっしゃい！」と見送るのでなく、はじめの数キロは伴走する。実際に一緒に走りながら、これまでのトレーニングの内容を実践し、できる喜びを共有する。それから送り出すのです。

■ デザインのツボ

それでは由井さんが「一緒に走ってぜひ経験してほしい」と考えておられる「デザインのツボ」と、その際に心がけておられるポイントをいくつか挙げておきます。

1) 「デザイン」という行為の醍醐味を経験する

とにかくデザインのビフォ-&アフターの変化を実感していただくこと。「デザイン」が入る前と、入ったあとでは何がどう変わったか。受ける印象は？ 自分の中で、そして第三者の反応は？ 由井さんと一緒になって自ら「デザイン」をし、そのプロセスと成果にドキドキ＆ワクワクする。その経験がこれからの「自分でするデザイン」の原動力になります。

2) 「デザイン」という行為の本質を経験する

日本ではまだまだデザイン＝色や形などの装飾的なものと考えられがち。例えば「パッケージデザインの相談に乗って欲しい」と云われる方々の多くが考えておられる「デザイン」の中身は、パッケージやそこに貼るラベルをいかにスマートできれいなも

のにするか、どんなイラストを入れ、どういう色づかいにすればいいか、というもの。でも本当の「デザイン」は、そんな薄っぺらいものじゃありません。

由井さんの言葉を借りれば、デザインとは「見えないものを見るようにする作業」「混然とした中から、はっきりとした道筋を明らかにしていく作業」ということになります。先のパッケージデザインの例でも、よくよく話をお聞きすると、図柄をどうこうする以前に、製品自体のコンセプトがはっきりしていなかったり、打ち出す方向がズレていたりすることが多々ある。ヴィジュアル系の作業に入る前に、コンセプト系の作業、すなわち「理屈のデザイン」をする必要があるのです。

いいデザインの半分は、いいコンセプトで出来ている。反対に云えば、いいコンセプトがないと、いいデザインはできない。というか、いいコンセプトを導き出すことが「デザイン」という行為の大きな部分を占めていると云ってもいい。それが実感できれば、デザインはスムーズに進みます。

3) アドバイスやコンサルでなく実践してみせる

消費者ニーズがどうか、今の時代はどうだとか、やれ差別化だ、オリジナリティだ、独自の強みを生かせとか、そういう一般的な話はもういい、聞き飽きた。うちの場合は具体的にどうしたらいいのか、それを教えて欲しい。これは社長さんの正直な気持ちでしょう。

だから、云うだけでなくその企業の実情に応じたコンセプト系作業を実際にやって見せる。そのコンセプトを踏まえたヴィジュアル系作業も少しやって見せる。もちろんその答えが正解かどうかは誰も分からないし、また正解がひとつというわけでもない。でも、ただ話を並べるのではなく、少しでも実際にやって見せ、一緒にやってみることで「他人ごと」が「自分ごと」になり、「デザイン」という行為に対する興味と理解は深まります。

4) デザインする上で必須の能力を認識していただく

造形感覚や色彩感覚以前に、デザインをする上で必須の能力があることを知っていただく。それは「本当に必要なものに気づく能力」や「自分でないと持ち得ない価値に気づく能力」そして「自分が思い描く理想を、少しずつでも現実に近づけていくためのステップを設定する能力」など。

有限会社 リンク・コミュニティデザイン研究所

代 表／由井 真波(よしい まなみ) 氏
所在地／〒604-0912 京都市中京区二条通河原町東入ル
樋之口町472-2 鶴野田ビル3F
設 立／1996年6月1日 URL／<http://link-cd.jp/>
理 念／人や地域・企業が持つ魅力をデザインを通して引きだしたい。
プロセスとつながりを大切に、遊びゴコロをプラスして。

当センターのデザイン担当では、「デザイナーを探している」「社内のデザイン力を高めたい」「開発中の製品に対して客観的な意見を聞きたい」「デザインのマネジメントを上手にやりたい」など、中小企業のデザイン活動に関するご相談に応じています。お気軽にお尋ねください。

お問い合わせ先

京都府中小企業技術センター 企画連携課 企画・情報担当 TEL: 075-315-8635 FAX: 075-315-9497 E-mail: kikaku@mtc.pref.kyoto.lg.jp

由井さんが支援された「自立するデザイン」の事例

事例-1) 自社の「売り」や「あるべき姿」の見える化



アンケートを元に現場で作ったフロー図



出来上がった会社案内パンフ(部分)

八幡市で精密機械加工などをされているセイキ製作所(075-981-7763)さんは、取引先がほぼ固定されていたこともあって営業やPRといった活動の経験が少なく、いざ会社案内を作ろうというときに自分たちの「売り」やアピールすべきポイント

がすぐには見えませんでした。

そこで全社員にアンケートという形で「自分だったらどんな工場や会社とつきあいたい」「自分はどんなことを心がけてシゴトをしているか」などを聞き取りして「当社のあるべき姿」を紡ぎ出すとともに、それ

を皆で自覚する機会としました。また経営陣との深い対話の中から、自分たちの強みは「企画→設計→加工→組立→アフターケア」まで一貫して自社内でできること(=それぞれに専門の技術者がいること)であると再認識し、それを見える化することを主題にして会社のパンフレットづくりを進められました。ここでまとめた内容は同社のウェブサイトにも反映されました。

事例-2) 銘木工芸の「入門者」を意識した見せ方

南丹市美山町の銘木工芸 山匠さん(0771-75-0291)は、何百年も生きたケヤキやトチなどの銘木を使い、時間と手間を掛けてさらに百年以上は使ってもらえるような筆筒や机などを作っておられます。

工房兼店舗にまず並んでいるのは堂々とした銘木家具で、同時に数十万円、数百万円という値札も目に入ります。しかし現在では銘木家具を買ったり贈ったりする習慣は薄れ、知る人も少なくなりました。

そこで、今はまず銘木工芸を知っていただき、馴染んでもらえるようなことを考えてはどうか、気負わず買える価格帯で、今の生活様式にスーッと入っていくようなものを前に出してみたいということに。



銘木(ケヤキ)の茶櫃



ランチョンマットの上に並べて撮影



WORDソフトで作成した新しいパッケージ

だからといって、わざわざ新商品を作らなくても、背景や並べ方を変えるだけで、与える印象ガラッと変わることがある。それを実感していただこうと、これまで大きな家具の陰に隠れるようにディスプレイされていた銘木製のスプーンやフォークなど単価千円前後のカトラリーを、ランチョンマットに並べ、写真を撮ってみました。すると「家庭画報」や「和楽」にあるような和風モノダダンな印象へと変わり、同席していた女性たちからも「素敵!」「全然違うモノみたい」と反応があって、新たな展開への手応えを掴まれました。

新しいパッケージは京都市内のホテルでの扱いも始まり、好評を得ています。

EMC技術セミナーの開催報告

「EMC」は、「Electro Magnetic Compatibility」の略で日本語には「電磁環境両立性」と訳されます。電気製品が周辺に出す電磁波ノイズをどれだけ抑えられるかと、どれだけ周辺からのノイズに耐えられるかの両方の性能を同時に達成させることを「EMC」と呼びます。現在、電気製品は、ほぼ世界中でこのEMCへの適合が求められています。

当センターでは、今年度、「EMC技術セミナー」と題しまして、以下のとおりセミナーを実施いたしました。また、本稿では、第1回EMC技術セミナーについて、その講演内容を紹介いたします。



今年度のEMC技術セミナー

■第1回EMC技術セミナー(7月 1日開催) ●第1部 「製品安全(基礎)—安全で信頼性のある製品を提供するために—」
【講師】PSEジャパン(株) 樋山 泰亮 氏

●第2部 「EMCとは? —言葉の意味から試験規格・試験方法—」
【講師】(一社)KEC関西電子工業振興センター 井上 正弘 氏

■第2回EMC技術セミナー(8月 2日開催) ●「～電気回路の基礎～」 【講師】奈良工業高等専門学校 教授 藤井 治久 氏

■第3回EMC技術セミナー(8月 9日開催) ●「～オシロスコープの基礎～」 【講師】アジレント・テクノロジー(株) 竹重 聡 氏

■第4回EMC技術セミナー(9月17日開催) ●第1部 「ノイズ対策部品の基礎と使い方」
【講師】(株)村田製作所 齋藤 康誌 氏

●第2部 「EMC規格と測定方法」
【講師】(一社)KEC関西電子工業振興センター 泉 誠一 氏

第1回EMC技術セミナー報告

第1部

「製品安全(基礎)—安全で信頼性のある製品を提供するために—」

製品設計・開発に携わる際には使用者に安全で快適な製品を供給することが求められます。その安全を確保するために様々な法規制があり、ものづくりをする上では避けて通れないものです。本セミナーでは、その中から「電気用品安全法」について講演をいただきました。

同法の対象となる「電気用品」には、登録検査機関による適合証明書が必要な「特定電気用品」と事業者の自己確認が可能な「特定電気用品以外の電気用品」があり、本セミナーではその違いや対象となる製品の具体例の紹介をいただきました。事業者は、販売する製品が「電気用品」であるか、また「電気用品」であっても「特定電気用品」であるのか「特定電気用品以外の電気用品」であるかを判断することになります。その場合、単に「電気用品」の名前から判断するのではなく製品が持つ「機能」から判断することが求められ、販売する製品が意外な名前の「電気用品」である場合があります。

また、本セミナーではその他、電気用品安全法の省令第1項技術基準と省令第2項技術基準の違いなどの電気用品安全法の話に加え、製品がはらむ危険として「感電」に関して取り上げ、IEC規格における感電保護クラスの種別や絶縁の種類、その種の絶縁が求められる箇所などについて、また、試験所で行われる安全試験の種類について、説明をいただきました。

第2部

「EMCとは? —言葉の意味から試験規格・試験方法—」

本セミナーではまず、「EMC」の導入として、「EMCとは何か?」という事について講演をいただき、日常生活に溢れる電磁波ノイズ源や、そのような中で機器自身が出す電磁波ノイズを少なくし、また溢れる電磁波ノイズに対して機器自身が耐性を持つことの意味や重要性について説明をいただきました。

また、EMCの数ある規格について、それらを定める国際機関や委員会、規格の体系や種類などについて紹介があった後、国内外におけるEMC規制について講演をいただきました。世界各国は、国際規格に基づいて、法規制や自主規制を行っていますが、その運用には差があるため注意が必要です。また、欧州では多くの製品規格が発行されているため、十分な調査が必要となってきます。日本では、法規制として「電波法」と「電気用品安全法」があり、この他、自主規制であるVCCIがあります。「電波法」と「電気用品安全法」による法規制は国が立ち入り検査や店頭買い上げで監視を続けており、2011年の検査では、検査した製品の内、5%弱が技術的に不適合であり、25%弱がマーク表示や書類管理面で不適合であるという結果が出ています。

セミナーの後段では、エミッション測定(機器自身が出す電磁波ノイズを調べる測定)及びイミュニティ試験(機器の電磁波ノイズに対する耐性を調べる試験)の種類やその方法について、実際の測定・試験の写真を交えながら紹介をいただきました。

お問い合わせ先

京都府中小企業技術センター 応用技術課 電気・電子担当 TEL:075-315-8634 FAX:075-315-9497 E-mail: ouyou@mtc.pref.kyoto.lg.jp

中小企業技術センター研究発表会、施設公開イベント開催報告

中小企業技術センターでは、7月25日～8月2日の間センターの活動内容を広く知っていただくため、様々な催しを開催しました。

■開催スケジュール(7/26～8/3は京都リサーチパークで「KRPウィーク」を開催)

	7/25(木)	7/26(金)	7/29(月)	7/30(火)	7/31(水)	8/1(木)	8/2(金)
	パネル展9:00～17:00 玄関ロビーでセンターの概要をパネルでご紹介します						
午前	綾部ものづくり体験ツアー (綾部市で開催)		施設見学ツアー11:00～12:00			中セン体感ツアー 10:00～12:00	
午後		環境セミナー 13:30～17:00				研究発表会 13:00～16:30	EMCセミナー 13:30～17:00
夕暮れ					夕暮れ施設見学ツアー 18:00～19:00		

センター研究発表会(8月1日)

センターでは、企業の皆様や大学等と連携を図りながら、研究開発や調査研究に積極的に取り組むとともに、その成果の活用により、中小企業の技術力強化・新分野進出の促進が図られるよう努めています。企業連携技術開発支援事業など当センター事業活用企業の紹介(亀岡電子(株)、(株)ジェイ・サイエンス・ラボ、(株)エマオス京都)、委託研究発表(京都工芸繊維大学大学院中村守正助教)に引き続き、当センター職員による材料・表面、電気・電子、デザイン、食品の各分野における研究・調査成果について発表会を開催しました。発表会終了後、中小企業技術センター協力会主催で「ポスターセッション&交流会」を開催し、多くの皆様に参加いただきました。各研究発表内容のポスター前での質疑・意見交換など熱心な交流会となりました。



中セン体感ツアー(8月1日)

センターでは、中小企業への技術支援を様々な分野で行っています。今回、4つの技術分野をリレー形式で“見て、触れて、感じて”いただく「新発見!中セン体感ツアー」を開催しました。約20名の参加があり、精密計測、分析、材料評価等の担当者から試験方法等の説明、機器の操作法、事例の紹介などを、また表面・微細加工担当から研究成果である「マイクロバブル浮選法のメッキ廃液への応用」「水中プラズマ法によるナノ粒子の生成」を体感していただきました。企業の技術課題解決のための活用方法を感じていただけたのではないかと思います。



精密測定室



電子顕微鏡室



材料試験室



表面処理研究室

施設見学ツアー(夕暮れ施設見学ツアー)

7/29～31にかけて、材料物性研究室や機械加工技術開発室などの普段は見られないセンターの研究室・試験室などを案内する見学会を開催しました。また、31日には初めての試みとして、勤務の関係などで昼間は出られないという方々に来ていただければと考え、18:00スタートの「夕暮れ施設見学ツアー」を行いました。昼間は企業の方が使用されていて、詳しくは見ることのできない電波暗室や精密測定室内等も見学し、より当センター業務に深く触れていただけたのではないのでしょうか。(述べ約60名参加)



電波暗室

玄関ロビーパネル展示

京都府産業支援センターにお越しいただいた方に中センの業務を少しでもご理解いただけたらと、中センの業務を紹介した「マンガ」をパネルにし、期間中展示しました。立ち止まってパネルに見入る来所者も見受けられました。



綾部ものづくり体験ツアー(7月25日)

中丹技術支援室では昨年に引き続き綾部市との共催で、綾部市内の小学5・6年生を対象とした「ものづくり体験ツアー」を開催しました。児童約30人が参加、「万能材料試験機」「3Dプリンタ」「X線透視装置」等の機器説明及び実験に参加していただきました。



開会



万能材料試験機

お問い合わせ先

京都府中小企業技術センター 企画連携課 TEL:075-315-8635 FAX:075-315-9497 E-mail:kikaku@mtc.pref.kyoto.jp

受発注あっせん情報

受発注あっせんについて

・本コーナーに掲載をご希望の方は、市場開拓グループまでご連絡ください。**掲載は無料です。**
・あっせんを受けられた企業は、その結果についてご連絡ください。
市場開拓グループ TEL.075-315-8590
(本情報の有効期限は11月10日までとさせていただきます)
※期限は、発行翌月の10日まで。毎月変更。
※本コーナーの情報は毎週火曜日、京都新聞及び北近畿経済新聞に一部掲載します。

発注コーナー

業種No	発注品目	加工内容	地域・資本金・従業員	必要設備	数量	金額	希望地域	支払条件・運搬等
機-1	治具配線、組立	検査用治具製作	久御山町 3000万円 80名	拡大鏡、半田付キット (レンタル可)	話し合い	話し合い	久御山から 60分以内	●月末・翌月末支払、継続取引希望、当社 内での内職作業も可
機-2	精密機械部品	切削加工	南区 1000万円 50名	MC、NC旋盤、NCフライス盤 他	話し合い	話し合い	不問	●月末・翌月末・日支払、全額現金、運搬受 注側持ち、継続取引希望
機-3	産業用機械部品	切削加工	南区 1000万円 12名	MC、旋盤、フライス盤、円 筒研削盤、平面研削盤他	多品種小ロット (1個～300個)	話し合い	不問	●月末・翌月末・日支払、10万超手形120日、 運搬受注側持ち、継続取引希望
織-1	婦人、紳士物 布製バック	縫製	東山区 個人 1名	関連設備一式	ロット20個～、月産数量は 能力に合わせ話し合い	話し合い	不問	●月末・翌月末・日支払、全額現金、運搬片 持ち、継続取引希望
織-2	ウェディングドレス	裁断～縫製～仕上	福井県(本社中京区) 18000万円 130名	関連設備一式	10～50着/月	話し合い	不問	●25日・翌月10日支払、全額現金、運搬 片持ち、内職加工先持ち企業・特殊ミシン (メローガ)可能企業を優先
織-3	婦人パンツ、 スカート、シャツ	裁断～縫製～仕上	南区 1000万円 12名	ミシン、アイロン等	100～500着/月	話し合い	不問	●20日・翌月15日支払、全額現金、運搬 片持ち
織-4	自動車カバー・ バイクカバー	裁断～縫製～仕上	南区 1200万円 17名	関連設備一式	話し合い	話し合い	不問	●月末・翌月末支払、全額現金、運搬片持 ち、継続取引希望
織-5	ウェディングドレス	裁断～縫製～仕上	右京区 107159万円 972名(連結)	ミシン、アイロン等関連設備 一式	20～100着/月	話し合い	不問	●月末・翌月末支払、全額現金、運搬発注 側持ち、継続取引希望
織-6	外国人向け(御土産 用)浴衣・半タ等	裁断～縫製～仕上 (縫製～仕上でも可)	下京区 4800万円 8人	インターロックミシン、本縫 いミシン	裁断2000着/月 縫製のみの場合は200着/月 (応相談)	話し合い	不問	●毎月20日締め、翌月5日現金支払い、運 搬片持ち、継続取引希望
織-7	腰、膝サポート・ スポーツアークセサ リ、産業資材など	各種縫製や手加工、 袋入れ、箱入れなど	綾部市 43名	本縫い、オーバー、千鳥。あ ればシーマ、COMミシン、 クリッカー要相談	要相談	要相談	京都府、 近畿圏内	●20日締め、翌月10日支払、現金振込、 持ち込み、もしくは片持ち運賃

受注コーナー

業種No	加工内容	主要加工(生産)品目	地域・資本金・従業員	主要設備	希望取引条件等	希望地域	備考
機-1	MC・汎用フライスによる精密 機械加工(アルミ、鉄、ステ ン、チタン他)	半導体関連装置部品、包装機 等	南区 300万円 6名	立型MC3台、汎用フライス4台、CAD/ CAM3台、汎用旋盤1台、画像測定機1台	試作品 ～量産品	京都・滋賀 ・大阪	運搬可能
機-2	切削加工・溶接加工一式(アル ミ・鉄・ステン・真鍮)	液晶製造装置・産業用ロボッ ト・省力化装置等精密部品	京都市南区 500万円 21名	汎用旋盤5台、NC旋盤3台、汎用フライ ス3台、MC6台、アルゴン溶接機5台他	単品～ 中ロット	不問	運搬可能、切削加工から真空機器部品のアル ゴン溶接加工までできる。
機-3	パーツ・フィード設計・製作、 省力機器設計・制作		宇治市 個人 1名	縦型フライス、ボール盤、メタルソー、 半自動溶接、TIG溶接、コンタ、CAD、そ の他工作機械	話し合い	不問	自動機をパーツ・フィードから組立・電気配 線・架台までトータルにて製作しますので、 低コストでの製作が可能。
機-4	電線・ケーブルの切断・圧着・圧接・ピン 挿入、ソレノイド加工、シールド 処理、半田付け、布線、組立、検査	ワイヤーハーネス、ケーブル、 ソレノイド、電線、コネクタ、 電子機器等の組立	下京区 3000万円 80名	全自動圧着機(25台)、半自動圧着機(50台)、全 自動圧接機(15台)、半自動圧接機(30台)、ア プリケータ(400台)、導通チェッカー(45台)他	少ロット(試 品)～大ロット (量産品)	不問	経験30年。国内及び海外に十数社の協力工場を含む生 産拠点をもち、お客様のニーズに応えるべく、スピー ディーでより低コストかつ高品質な製品を提供します。
機-5	SUS・AL・SS板金・製缶、電子 制御板等一式組立製品出荷まで	SUS・AL・SS製品、タンク槽、ボ イラー架台等、大物、小物、設計・ 製造、コンポスト型生ゴミ処理機	南丹市 1000万円 8名	ターレットパンチプレス、シャー各種、ベンダー 各種、Tig・Migアーク溶接機各5台以上、2.8tクレー ン2基、1t3基、フォークリフト2.5t2台、その他	話し合い	不問	2t車、4t車輦、継続取引希望、単発可
機-6	MC、汎用フライスによる精密 機械加工(アルミ、鉄、ステ ンレス)	半導体関連装置部品、包装機 等、FA自動機	南区 1000万円 30名	三次元測定器、MC、NC旋盤、NCフライ ス盤、汎用フライス盤、CAD他	試作品 ～量産品	京都・滋賀 ・大阪	運搬可能、短納期対応可
機-7	切削加工	産業用機械部品	伏見区 個人 2名	NC立フライス、旋盤5～9尺、フライ ス盤1～2、平面研削盤等	話し合い	不問	継続取引希望
機-8	プレス加工 (抜き、曲げ、絞り、タッパ)	自動車部品、機械部品、工芸 品、園芸品等小物部品	福知山市 300万円 8名	機械プレス15T～100T(各種)	話し合い	不問	NCロール、クレードルによるコイルから の加工も可
機-9	精密切削加工 (アルミ、鉄、ステンレス、真 鍮、樹脂)	各種機械部品	南区 1000万円 18名	MC、NC旋盤、NC複合旋盤 20台	話し合い	不問	丸・角・複合切削加工、10個～1000個ロット まで対応します。
機-10	ユニバーサル基板(手組基板)、ケース ・BOX加工組立配線、装置間ケー ブル製作、プリント基板修正改造		伏見区 個人 1名	組立・加工・配線用工具、チェッカー他	単品試作品 ～小ロット	京都府内	経験33年。 性能・ノイズ対策を考えた組立、短納期に 対応、各種電子応用機器組立経験豊富
機-11	産業用基板組立、制御盤組立、 ハーネス、ケーブル加工		宇治市 300万 5名	静止型ディップ槽・エアコンプレッ サー・エア圧着機・ホットマーカー・電子 機器工具一式	話し合い	京都・滋賀 ・大阪	継続取引希望、フォークリフト有り
機-12	プラスチックの成型・加工	真空成型トレイ、インジェク ションキャップ・トレイ等ブロー 成型ボトル等	伏見区 1000万 19名	真空成型機、射出成型機、中空成型機、 オイルプレス機	話し合い	京都・大阪 ・滋賀	金型設計、小ロット対応可
機-13	切削加工(丸物)、穴明けTP	自動車部品、一般産業部品	伏見区 個人 3名	NC旋盤、単能機、ボール盤、ホーニン グ盤	話し合い	近畿地区	
機-14	振動バレル、回転バレル加工、 穴明け加工、汎用旋盤加工	鋼材全般の切断	精華町 1000万円 8名	超硬丸鋸切断機10台、ハイス丸鋸切断機 1台、帯鋸切断機7台	話し合い		運搬可能、単品可能、継続取引希望
機-15	MC、NC、汎用フライスによる 精密機械加工(アルミ、鉄、 銅、ステン他)	半導体装置、包装機、医療器、 産業用機械部品	南区 300万円 5名	立型MC2台、立型NC3台、汎用フライ ス5台、CAD/CAM1台、自動コンター マシン2台	試作品～ 量産品	京都・滋賀 ・大阪	運搬可能、継続取引希望
機-16	超硬、セラミック、焼入鋼等、 丸、角研磨加工一式	半導体装置部品、産業用機械 部品	南区 個人 1名	NCフライス1台、NC平面研削盤2台、NC プロファイル研削盤3台、銀、ロー付他	話し合い	不問	単品、試作、修理、部品加工大歓迎
機-17	精密機械加工前の真空気密溶 接		久御山町 個人 1名	アルゴン溶接機1台、半自動溶接機1台、 アーク溶接機、クリーン1t以内1台、歪 み取り用プレス1台	話し合い	不問	単発取引可
機-18	精密寸法測定	プラスチック成形品、プレス 部品、プリント基板等	宇治市 6000万円 110名	三次元測定機(ラインレーザ搭載機あり)、 画像測定機、測定顕微鏡、表面粗さ 形状測定機、その他測定機、CAD等	話し合い	不問	3DCADとのカラー段階評価モデリング対 応可、CAD2D⇄3D作成
機-19	MC、NCによる切削加工	産業用機械部品、精密機械部 品	亀岡市 1,000万円 12名	NC、MC縦型、横型、大型5軸制御マシ ニング	試作品～ 量産品	不問	
機-20	NC旋盤、マシニングによる 精密機械加工	産業用機械部品、半導体関連 装置部品、自動車関連部品	伏見区 1,000万円 11名	NC旋盤6台、マシニング2台、フライ ス盤、旋盤多数	話し合い	不問	継続取引希望、多品種少量生産～大量生産 まで

業種No	加工内容	主要加工（生産）品目	地域・資本金・従業員	主要設備	希望取引条件等	希望地域	備考
機-21	溶接加工一式（アルミ、鉄、ステン）板金ハンダ付、けろ付け	洗浄用カゴ、バスケット、ステン網（400メッシュまで）加工修理ステンレストンク、ステンレススクリー	城陽市 個人 4名	旋盤、シャーリング、ロールベンダー、アイアンワーク、スポット溶接機、80tブレーキ、コーナシャワー	話し合い	京都府南部	
機-22	コイル巻き、コイルブロック仕上、LEDパネルの販売・加工	小型トランス全般	南区 500万 3名	自動ツイスト巻線機2台、自動巻線機8台	話し合い	京都近辺	短納期対応
機-23	切削加工、複合加工	大型五面加工、精密部品加工、鋳造品加工	南区 3000万 20名	五面加工機、マシニングセンター、NC複合旋盤	話し合い	不問	継続取引希望
機-24	超硬合金円筒形状の研磨加工、ラップ加工	冷間鍛造用超硬合金パンチ、超硬円筒形状部品	八幡市 300万円 6名	CNCプロファイル、円筒研削盤2台、平面研削盤、細穴放電、形状測定機、CNC旋盤	単品試作品、小ロット	不問	鏡面ラップ加工に定評あります。品質・納期・価格に自信あります。
機-25	板金加工（切断・曲げ・穴抜き）	パネル、シャーシ、ブラケット等	中京区 個人 1名	シャーリング、プレスブレーキ、セットプレス等	話し合い	京都市近郊	短納期、試作大歓迎。継続取引希望
機-26	円筒研削加工、円筒鏡面超精密加工	産業用機械部品、自動車用円筒研削	八幡市 個人 1名	円筒研削盤1台、汎用旋盤1台、ナノ研削盤1台	単品～大ロット	不問	直円度0.15μm、面粗度0.0093μm
機-27	各種制御機器の組立、ビス締、ハンダ付等	各種制御機器用端子台	伏見区 1000万円 13名	自動ネジ締め7台、ベルトコンベア1台、コンプレッサー（20hp）1台、電動ドライバー30台	話し合い	京都、大阪、滋賀	
機-28	サンドブラスト加工	ガラス製品、工芸品、商品の彫刻加工	大山崎町 1000万円 2名	特装ブラスト彫刻装置、マーキングブラスター	話し合い	不問	単品、試作、小ロット可
機-29	電子部品の検査、組立（半田付け）		南丹市 300万円 9名	スポット溶接機、半田槽、拡大鏡、恒温槽、乾燥炉、放熱板かしめ機、絶縁抵抗測定器、コンプレッサー、耐圧用治具	話し合い	関西	
機-30	LED照明器具製造に関する加工、組立、検査（全光束、照度、電流・電圧等）	LED照明器具	久御山町 3000万円 70名	積分球（全光束検査装置、全長2mまで可）電流・電圧測定器 照度計 各種NC制御加工機	翌月末現金払い希望	関西	LED照明器具の製造から検査までの多様なご要望にスピーディに対応致します。
機-31	手作業による組立、配線	各種制御盤（動力盤、低圧盤、その他）・ハーネス、ケーブル加工	南区 300万円	半田付キット、各種油圧工具、ホットマーカー、（CTK2台）、ボール盤、2t走行クレーン	話し合い	京都、滋賀、大阪	
機-32	精密金型設計、製作、金型部品加工	プラスチック金型、プレス金型、粉末冶金金型	京都市 1000万円 12名	高速MC、ワイヤーカット形形放電、成形研磨、3DCAD/CAM、3次元測定機	話し合い	不問	継続取引希望
機-33	電子回路設計、マイコン回路、ソフト開発、ユニバーサル基板、制御BOX組立配線	産業電子機器、電子応用機器、自動検査装置、生産管理装置	久御山町 300万円 5名	オシロスコープ、ファンクション発生器、基準電圧発生器、安定化電圧電源、各種マイコン開発ツール	話し合い	不問	試作可、単品可、特注品可、ハードのみ・ソフトのみ可
機-34	切削加工、溶接加工	各種機械部品	向日市 300万円 3名	汎用旋盤、汎用フライス、アルゴン溶接機、半自動溶接機	話し合い	不問	単品～小ロット、単品取引可
機-35	機械部品加工		宇治市 1500万円 45名	フライス盤、小型旋盤、ボール盤、コンタマシ	話し合い	不問	試作可、量産要相談
機-36	汎用フライス・マシニングによる精密機械加工（アルミ、鉄、ステンレス他）	精密機械部品、半導体装置部品	京都市南区 300万円 3名	汎用フライス2台、マシニングセンター2台、ボール盤3台	単品～複数可（話し合い）	京都市内 宇治市内	短納期品可（話し合い）
機-37	産業用各種製造装置の加工～組立～電機		伏見区 300万円 6名	フォークリフト（3t）、ホイスト（2トン）、汎用フライス、汎用旋盤	話し合い	京都近辺	
織-1	仕上げ（縫製関係）、検査	婦人服全般	北区 300万円 8名	仕上げ用プレス機、アイロン、検針器	話し合い	話し合い	
織-2	和洋装一般刺繍加工及び刺繍ソフト制作		山科区 1000万円 3名	電子刺繍機、パンチングマシン	話し合い	不問	タオルや小物など雑貨類の刺繍も承ります。多品種小ロットも可。運搬可能。
織-3	縫製仕上げ	婦人服ニット	八幡市 個人 4名	平3本針、2本針オーバーロック、千鳥、メロー、本縫各ミシン	話し合い	話し合い	継続取引希望
織-4	繊維雑貨製造、小物打抜、刺繍加工、転写、プリント		舞鶴市 850万 9名	電子刺繍機、パンチングマシン、油圧打抜プレス、熱転写プレス	話し合い	不問	単発取引可
織-5	手作業による組立加工	和雑貨、装飾小物（マスコット、ファンシー雑貨、民芸品）、菓子用紙器等	電岡市 300万円 7名	ミシン、うち抜き機（ボンズ）	話し合い	不問	内職150～200名。機械化が不可能な縫製加工、紙加工の手作業を得意とする。
織-6	裁断～縫製	カットソー、布帛製品	伏見区 300万円 6名	本縫いミシン5台、二本針オーバーロック4台、穴かがり1台、鉋付1台、メロー1台、平二本針2台、高二本針1台、プレス1式	話し合い	近畿一円	
織-7	縫製	ネクタイ・蝶タイ・カマーバンド・ストール	宇治市 1000万円 27名	リバー、自動裏付機、オーバーロック、本縫ミシン、バンドナイフ裁断機	話し合い	不問	
他-1	HALCON認識開発、Androidスマホアプリ開発	対応言語：C/C++、VC++、VB、NET系、Delphi、JAVA、PHP	右京区 2000万円 25名	Windowsサーバー4台、Linuxサーバー3台、開発用端末30台、DBサーバー3台	話し合い	京都、大阪、滋賀、その他相談	小規模案件から対応可能
他-2	情報処理系 販売・生産管理システム開発、計測制御系 制御ソフト開発	対応言語：VB、NET、JAVA、C/C++、PLCラダー、SCADA（RS-VIEW/iFIX）他	下京区 1000万円 54名	Windowsサーバー10台、Linuxサーバー5台、開発用端末35台	話し合い	不問	品質向上・トレーサビリティ・見える化を実現します。ご相談のみ大歓迎。
他-3	印刷物・ウェブサイト等企業運営のためのデザイン制作		左京区 個人 1名	デザイン・製作機材一式	話し合い	京都・大阪・滋賀	グラフィックデザインを中心に企業運営のためのデザイン企画を行っています。
他-4	知能コンピューティングによるシステム開発、学術研究システム開発	画像認識、高速度カメラ画像処理、雑音信号除去、音声合成、振動解析、統計解析などのソフトウェア開発	下京区 300万 9名	開発用コンピューター15台	話し合い	不問	数理論やコンピュータサイエンスに強い技術集団です。技術的課題を知能コンピューティングを駆使して解決します。
他-5	電子天秤の検査・校正	検査証明書、JCSS校正証明書	城陽市 1000万 2名	各種分銅、電子天秤	話し合い	不問	JCSS校正は300Kg以下。取引証明書の検定とは異なります。
他-6	箔押、染色標本、呉服色見本	各種紙への箔押、染色標本の制作、呉服色見本の制作、紙布等の裁断	上京区 個人 3名	断裁機、箔押機、紙筋入れ機	話し合い	京都市内	高級包装紙や本の表紙に金銀の箔を押し入れる業務が得意です。少量から承ります。
他-7	精密機械、産業機械の開発設計		右京区 300万円 1名	PTC CREO DIRECT MODELING PTC CREO DIRECT DRAFTING Solid Works	話し合い	京都 大阪 滋賀	

※受発注あっせん情報を提供させていただいておりますが、実際の取引に際しては書面交付など、当事者間で十分に話し合いをされ、双方の責任において行っていただきますようお願いいたします。
 ＊財団は、申込みのあった内容を情報として提供するのみです。価格等取引に係る交渉は、直接掲載企業と行っていただきます。

お問い合わせ先

（公財）京都産業21 事業推進部 市場開拓グループ TEL：075-315-8590 FAX：075-323-5211 E-mail：market@ki21.jp

行事予定表

担当： 公益財団法人 京都産業21 京都府中小企業技術センター

日 時	名 称	場 所
10/11(金) 13:30~16:45	機械操作講習会 (材料分析コース)	京都府産業 支援センター研究室
10/12(土) 10:00~17:00	起業家セミナー 課程1	京都府産業 支援センター5F
10/15(火) 13:00~15:00	下請かけこみ寺巡回相談 (無料弁護士相談)	久御山町商工会
10/16(水) 13:30~16:30	京都実装技術研究会第3回例会	京都府産業 支援センター研修室
10/17(木) 13:00~15:00	下請かけこみ寺巡回相談 (無料弁護士相談)	ガレリアかめおか
10/19(土) 10:00~17:00	起業家セミナー 課程2	京都府産業 支援センター5F
10/19(土)20日 10:00~翌17:00	経営者育成大学 宿泊研修 (第8回)	京都府立 ゼミナールハウス
10/22(火) 10:00~16:00	ビジネスフェアin京たなべ2013	同志社大学 京田辺校
10/22(火) 13:00~15:00	下請かけこみ寺巡回相談 (無料弁護士相談)	丹後・知恵の ものづくりパーク
10/23(水) 10:00~19:00	第17回異業種京都まつり	ホテルグランヴィア 京都
10/23(水) 13:00~15:00	下請かけこみ寺巡回相談	北部産業技術 支援センター・綾部
10/23(水) 13:00~15:00	工芸品お直し(修理)無料相談会	京都試作センター(株)
10/23(水) 14:00~16:00	下請適正取引ガイドライン説明会	ホテルグランヴィア 京都5F

日 時	名 称	場 所
10/24(木) 15:00~16:30	第3回京都陶磁器釉薬セミナー (京焼きの歴史と技術・技法)	京都府産業 支援センター研修室
10/25(金)~27日 11:00~19:00	Cool Kyoto 2013	赤坂サカス
10/28(月) 9:00~17:00	京都ものづくり若手リーダー育成塾 (企画・発想(3))	京都府産業 支援センター研修室
10/29(火) 13:30~17:00	京の知財エンジニアリングセミナー (第3回発明の発掘・展開)	京都府産業 支援センター研修室
10/30(水) 13:30~17:00	環境セミナー (循環型社会の構築に向けて)	京都府産業 支援センター研修室
10/31(木) 13:30~16:30	第2回 食品・バイオ技術セミナー	京都府産業 支援センター研修室
11/ 2(土) 10:00~17:00	起業家セミナー 課程3	京都府産業 支援センター5F
11/ 7(木) 13:00~15:00	下請かけこみ寺巡回相談 (無料弁護士相談)	南丹市園部公民館
11/ 8(金) 13:00~17:00	情報化プラザ(全5回) (webマーケティング研究会)	京都府産業 支援センター2F
11/ 8(金) 13:30~17:00	京都品質工学研究会公開セミナー	京都府産業 支援センター研修室
11/ 9(土) 10:00~17:00	起業家セミナー 課程4	京都府産業 支援センター5F
11/12(火) 13:30~17:00	京の知財エンジニアリングセミナー (第4回情報特許検索/応用他)	京都府産業 支援センター研修室
11/12(火) 15:00~18:45	KIIC会員交流会	京都リサーチパーク 4号館2F

◆北部地域人材育成事業

10/11(金)~ 11/29(金) (月~金曜日) 9:00~16:00 ※昼休み1時間	ものづくり基礎技術習得研修	丹後・知恵の ものづくりパーク
10/16(水) 10/23(水) 9:30~16:30 ※昼休み1時間	電気系保全実践技術研修	北部産業技術 支援センター・綾部
10/16(水) 10/23(水) 10/30(水) 19:00~21:00	新商品開発のための研修(色彩学)	丹後・知恵の ものづくりパーク

10/17(木) 14:00~17:00	経営品質セミナー(観光業コース)	丹後・知恵の ものづくりパーク
10/25(金) 11/15(金) 18:30~20:30	若手人材育成セミナー	
11/11(月) 13:00~17:00	ものづくり海外展開基礎 ノウハウ研修	
11/15(金) 13:00~17:00	ものづくりのための教育訓練 「仕事の達成度を高めるためのPDCAの具体的手法」	

《第5回ものづくり日本大賞受賞のお知らせ》

経済産業省等が製造現場を支える優れた人材を表彰する「ものづくり日本大賞」の受賞者が決定しました。京都府においては次の企業の方々が受賞し、去る9月18日に表彰式が執り行われました。おめでとうございます。

◆内閣総理大臣賞(経済産業省関係)

(株)クロスエフェクト(京都市伏見区) 「再現力のある精密臓器シミュレーター」

◆優秀賞(経済産業省関係)

TOWA(株)(京都市南区)
「樹脂有効利用率100%、樹脂流動レスを実現した半導体用圧縮成形樹脂封止装置の開発」

内外特殊エンジニア(京都市南区)

「省エネ・発電を同時に実現した世界初のボイラー蒸気圧力調整器の開発」

(株)ナベル(京都市南区)

「多品種・超短納期オーダー対応を可能とした、卵の自動倉庫型選別包装システムの開発」

【専門家特別相談日】(毎週木曜日 13:00~16:00)

事前申込およびご相談内容について、(公財)京都産業21 お客様相談室までご連絡ください。TEL 075-315-8660 FAX 075-315-9091

【取引適正化無料法律相談日】(毎月第二火曜日 13:30~16:00)

事前申込およびご相談内容について、(公財)京都産業21 事業推進部 市場開拓グループまでご連絡ください。TEL 075-315-8590 FAX 075-323-5211

京都府中小企業事業継続支援センター

起業・事業承継に関する相談をお受けし、
各支援機関と連携支援を行います。 TEL 075-315-8897

最新情報等はこちら → <http://www.jigyo-keizoku.jp/>

京都府産業支援センター <http://kyoto-isc.jp/> 〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134

公益財団法人 京都産業21 <http://www.ki21.jp>

代表 TEL 075-315-9234 FAX 075-315-9240

北部支援センター 〒627-0004 京丹後市峰山町荒山225

TEL 0772-69-3675 FAX 0772-69-3880

けいはんな支所 〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台1丁目7(けいはんなプラザ ラボ棟)

TEL 0774-95-5028 FAX 0774-98-2202

上海代表処 上海市長寧区延安西路2201号 上海国際貿易中心1031室

TEL +86-21-5212-1300

編集協力／為国印刷株式会社

京都府中小企業技術センター <http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp>

代表 TEL 075-315-2811 FAX 075-315-1551

中丹技術支援室 〒623-0011 綾部市青野町西馬下38-1

TEL 0773-43-4340 FAX 0773-43-4341

けいはんな分室 〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台1丁目7(けいはんなプラザ ラボ棟)

TEL 0774-95-5027 FAX 0774-98-2202